

4月定例作業日は、4月20日(土)9時グリーントリム公園集合。

(第2土曜日はお祭りと重なるので第3週に延期です。)
斜面の下刈りをします。雨の場合は中止。

平日作業日は、お休みです。

新年度の会費集めます。 緑の募金にもご協力を

(予定) 総会を5月11日(土)10時から美原会館にて、そのあと懇親会(出欠教えてください)

しだれ桜

**1. 3月の定例作業は、薪割りおよび薪割り作業場の整理等**

3/9(土)、朝早々は寒い日かと思われたが、10時頃には日射しがあり、気温は和らぎました。13名参加です。清水さんという方が見学に1日参加してもらいました。

先月より続いた薪割り作業場の整理を皆で行いました。まず、長い丸太が残っている薪用資材置き場の丸太を切断するグループが作業始めました。丸太をチェーンソーで切断し、形の良い部分を椅子用にし、残りを薪用にしました。各々長さは約40cm、35cmです。あと整地すればリヤカーが入れ通路とできるところまでしました。

次いで、薪割りグループが3人で次々と薪割りをしました。その薪を束ねるグループ、椅子用丸太切片を皮剥ぎしたり、薪用丸太切片を片付けたり、薪置き場の薪束やビニールシート掛けをするグループという役割分担をしました。

その他、ゴミ拾い、落下した枝木の片付けもしました。

なお、その日後刻、第2広場の枯れたコナラの下を歩いていた犬の傍に枝木が落ちてきて犬が驚いて逃げ



薪資材置き場の整理



薪割り・束ね



椅子用丸太



休憩時間



深山含笑の前で集合写真

た、という光景を見ていた通行人が教えてくれました。みなさん枯れ木の下を歩かぬようにしましょう。

休憩時には作ったばかりの丸太椅子を活用して全員腰かけて歓談しました。

深山含笑のつぼみが開き始めたので記念写真撮りました。

2. 3月平日作業は、ゴミ拾い、コキア用穴掘り

前日、雨でしたが、3/19（火）は晴れました。作業参加は5名です。まず、ゴミがあちこち見受けられるので、各々5方向に広がりゴミ拾いをすることにしました。弁当食べかすのビニール包みやプラスチック、垣根越しに捨てられた住宅ゴミ、たばこの吸い殻などを収集しました。また、里山巡回して、倒木・落枝や、トキワマンサク・ハクモクレンの花、カモミール・チューリップの成長などを観察し、報告し合いました。



倒木



トキワマンサク



ハクモクレン



カモミール

次いで、コキアの苗床の穴掘りをしました。昨年夏頃までに枯れて失敗したのは土壌が悪かったのではと、穴を大きく掘って黒土・腐葉土を入れました。穴を11個掘りました。後日、石田利雄さんが畑から苗を持ってきて植え付けました。



コキア用穴掘り



コキア苗植え付け

土壌改良するミミズ

ミミズは環形動物の貧毛類だが、剛毛をもっています。この毛がスパイクのようになって身体の伸縮運動で身体を前進させます。先端に口があり、落ち葉や土のみ込んで、腸で栄養を吸い取り、尻から便を排出します。肺はなく皮膚呼吸をしています。皮膚の毛細血管で酸素と炭酸ガスの交換を行っています。ミミズには心臓はありませんが、5本の血管が自動収縮して血流を作っているようです。体表から尿を出しています。

ミミズの便と尿が植物の栄養となると共に、ミミズの通り道が土中に酸素と水分保持をしてくれます。また、呑み込んだ落葉や土がミミズの腸を通過するときにかびなどの有害微生物を死滅させて、植物の根にとっても良い環境を作ってくれます。

ミミズには目がないので、“目見えず”から“メメズ”→“ミミズ”となったようです。体表に視覚センサーがあるので、光の方向は識別できるようです。もちろん脳はあります、小さいけれど。そして神経系も持っています。

ミミズにも多くの種類があり、水田にいるミズミミズなどもありますが、畑などに多くいるフトミミズは皮膚呼吸しているので、長雨のとき地表に出てくることもあります。

ミミズは雌雄同体です。成熟したミミズには“首巻き”と俗称される環帯があり、この環帯に雌性孔があり、環帯の後に雄性孔があります。2体交尾のあと産卵し、環帯が卵と栄養素を包み込み保護します。フトミミズは夏に産卵、春に孵化し、4～8週間で生体になります。

【ミミズの利用】畑の土壌改良。ミミズを使って堆肥を作る“ミミズコンポスト”。魚釣りの餌。うなぎの餌。家畜の餌。血圧降下や熱さまし薬。重金属の処理。